

◇軍国主義の国家へ

日中戦争が始まった昭和12年ごろ、私は小学生でした。「朕思うにわが皇祖皇宗」から始まる天皇の言葉「教育勅語」は教育を通じて植えつけられ、歴代天皇名も「神武、綏靖、安寧、懿徳」から「大正」「昭和」まで125代総て暗記しました。

南京陥落のときは国を挙げた提灯行列で日本軍隊の正義の勝利として誇り、出征兵士には「天に代わりて不義を討つ 忠勇無双の我が兵は」と歌い、軍需工場に働く者は月月火水木金と休みなく働き続けました。子供たちの人気漫画のらくろ二等兵、肉弾三勇士などが戦争に参加することが当たり前の世代となる軍国主義の国家となりました。

◇同級生の戦死

少年航空隊に志願した同級生が故郷に別れにくると



飯島松三郎さん

戦争に参加することが当たり前の世代

知らされみんな待っている、東の空から飛んできた飛行機が急降下し諏訪湖上すれすれに旋回。窓から手を振る姿に「小原だ。翼を振り振り二度、三度旋回して再び東の空に消えた。それから一ヶ月も経たない頃、台湾沖で戦死と聞きま

した。19才でした。港、武山海兵団の海軍機関兵でいた。軍港には旗艦三笠、信濃など多くの艦艇が出入りしています。赤い艦底を見せられているのも数ありました。入隊検査後、上官は「娑婆とは今日限り。帝国軍人の精神を鍛えぬく！」。同壁に手を添え膝を曲げ、軍人精神注入棒」と書かれたバットで尻を嫌という程叩かれた。机の上に物を置いたのが悪いと言った。それ以後は海軍独自の

例年より一年早く、横須賀軍

◇海軍機関兵として入隊 私に召集令状がきたのは

仕置きで鍛えられました。◇百里原航空隊へ 機関エンジンなど所定の放線も終えいよいよ南方派遣を迎えたが、艦が無いので一部は茨城県の百里原航空隊へ。私も航空隊整備の任につき、滑走路整備でローラーの運転を担当しました。重さ10ト、時速3キロ、天井は日よけの天幕のみの転圧ローラーです。

昭和19年8月1日未明に米軍により飛行場が爆撃され、兵舎、格納庫滑走路を修復していると再び敵機がきました。P51艦載機とグラマン戦闘機が数機。味方の高射砲、機関銃、空からの爆弾や機銃の激しい空中戦です。ローラーに当たる金属音、土ほこりをあげて飛んでくる弾丸をみても、銃を持っていない私はひたすら走るだけでローラーを捨てることはできません。ローラーも兵器です。捨てるから処置されるからです。



徴兵検査の際、諏訪市手長神社前の小学校校庭で撮影された記念写真＝1943(昭和18)年夏



1944(昭和19)年、36人が海軍武山海兵団に入隊。最後列左から2人目が飯島さん

30分ぐらいで敵機は退散しました。被害状況は上部から知らせもありません。翌日、2日未明に水戸が艦砲射撃をうけ、死者240人、重軽傷者一千人と聞きました。兵舎のない私たちは近くの民家を宿にして過し、8月15日の終戦を迎えました。 ※原文を尊重して掲載しました。

決戦訓 皇軍将兵は皇土を死守すべし 身は死ぬとも尚魂魄を留めて之を守護すべし 国士決戦令 国士決戦に参加する全将校の覚悟は各々身をもって大君の御盾となり、来襲する敵を殲滅し万死固より帰するが如く、七生報告の念願を深くして無窮なる皇國の基礎たり得ると悦ぶべし。

決戦間、傷病兵の後退せざるを本旨とする。盟友の看護、付添いは之を認めず。戦闘中、部隊の後退は之を許さず。以上を守らぬ者は、軍法会議又は銃殺される。 毎日毎日、朝に晩に叫んだ言葉ですが、今これを知る資料は殆どないと思います。如何に天皇を利用し、国民を犠牲にしたか、決戦訓、国士決戦令を知ることができます。

今年の8月15日で戦後80年を迎えます。引き続き戦争の体験談を募集します。内容は戦争体験に限らず、戦後の生活に関する話題などでも結構です。原稿用紙2枚(800字)程度にまとめ、住所、氏名、年齢、連絡先(電話番号と、必要に応じメールアドレス)を添えて寄せてください。掲載時期は随時調整します。

写真や資料も歓迎しますが、お返しはできませんのでご注意ください。写真や資料の説明文も付けていただくと

助かります。差し支えなければ、掲載用の顔写真(インポートでも可)の提供もお願いします。匿名、ペンネームも可能ですが、応募は本名でお願いします。 〒392-8611 諏訪市高島3-1323-1 長野日報社編集局「戦後80年企画」係 hodo@nagano-np.co.jp 問い合わせは本社編集局(電話0266・58・2000)